

2023年11月2日

「金融スキマ世代」の47都道府県・7地方別の 「投資への意識と実態」に関する調査を実施

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：大関 洋）は、株式会社GA technologies（代表取締役社長執行役員 CEO：樋口 龍）が運営するネット不動産投資サービスブランド「RENOSY(リノシー)」、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するFinatextグループの株式会社スマートプラス（代表取締役：小林 紀子）と共同し、20代～30代の「金融スキマ世代（※1）」に「都道府県・地方別、投資の意識と実態に関する調査」を実施しました。

「新しいNISA」制度（※2）の開始まで3ヶ月を切る中、47都道府県・7地方別の計6,778名に調査を実施したところ、首都圏など大都市圏を中心に現行NISAについては経験者含め約8割以上が関心ありという結果が判明しました。

調査を通じて、若年層の投資に対する意識の高まりが窺えましたので、調査結果を地方・都道府県別に抜粋し、お知らせいたします。

※1：金融スキマ世代とは、20代～30代でリーマンショック後の低金利時代に社会人生活の大半を送り、10代で金融教育を受ける機会のなかった世代と定義しています。

※2：金融庁「新しいNISA」(<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/nisa2024/index.html>)

◆ 調査結果サマリー ◆

- ・全国平均・各地方別ともに**3人に1人が老後の暮らしに「不安・心配」**を感じていると回答。
- ・投資経験および投資意欲に関する質問においては、**投資経験者、または「やったことはないが関心あり」は全体の約7割**と非常に高い数値。
- ・投資意欲については前述の通り全体的に高いものの、**投資経験者の割合は、全国平均では37.8%**。関東地方は平均より高く45.8%、北海道・東北地方は29.4%と最も低い結果に。
- ・**現行NISAの経験者、または「やったことはないが関心あり」は約8割以上**。「NISA／つみたてNISA」での投資経験者を都道府県別にみると、東京都の61.2%が最多、最少は大分県の30.6%と差が広がる。
- ・金融スキマ世代は、投資をする上で**「始めやすさ」「安定的な利益」「デジタルで管理できる手軽さ」**を順に求める結果に。金融サービスの利用方法としては、**「オンラインで完結するサービス」**が好まれている。

<「金融スキマ世代」は自身の「老後の暮らし」をどう感じている？>

「老後の自分の暮らしを想像したときに、思い当たる感情で最も強く思うもの」を尋ねました。
全国平均、各地方別ともに30%以上が「不安・心配」への回答する割合が最も高く、3人に1人が不安を感じていることが分かりました。
次に回答の多かったものは、全国平均・各地方別とも「想像がつかない・考えたことがない」となりました。

「金融スキマ世代」が「老後の暮らし」に最も強く感じているのは？（地方別、n=6,778）

	全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
1位	不安・心配 36.2%	不安・心配 37.2%	不安・心配 35.2%	不安・心配 37.9%	不安・心配 34.9%	不安・心配 34%	不安・心配 34.6%	不安・心配 37.4%
2位	想像がつかない 考えたことがない 22.2%	想像がつかない 考えたことがない 23.4%	想像がつかない 考えたことがない 19.6%	想像がつかない 考えたことがない 21.4%	想像がつかない 考えたことがない 21%	想像がつかない 考えたことがない 24.4%	想像がつかない 考えたことがない 26.6%	想像がつかない 考えたことがない 21.9%
3位	なんとかなる 10.4%	当てはまるものはない 9.8%	なんとかなる 11.2%	なんとかなる 9.5%	なんとかなる 10.7%	なんとかなる 12.7%	なんとかなる 9.5%	なんとかなる 10.4%
4位	当てはまるものはない 8.7%	なんとかなる 9.6%	当てはまるものはない 7.8%	当てはまるものはない 8.7%	当てはまるものはない 10%	当てはまるものはない 8.6%	当てはまるものはない 7.3%	当てはまるものはない 8.3%
5位	楽しみ・ワクワク 5.9%	つらい・悲しんでいる 5.3%	楽しみ・ワクワク 6.4%	楽しみ・ワクワク 5.7%	楽しみ・ワクワク 6.8%	つらい・悲しんでいる 5.7%	楽しみ・ワクワク 6.6%	楽しみ・ワクワク 6.6%
6位	つらい・悲しんでいる 5.4%	楽しみ・ワクワク 4.5%	つらい・悲しんでいる 6.1%	つらい・悲しんでいる 5.5%	つらい・悲しんでいる 5.4%	楽しみ・ワクワク 5%	つらい・悲しんでいる 5.9%	つらい・悲しんでいる 4.3%
7位	安心している 4.1%	イライラする 3.8%	安心している 4.9%	憧れる 4.1%	憧れる 4.8%	安心している 4.6%	安心している 4.8%	安心している 4.1%
8位	憧れる 3.7%	安心している 3.6%	憧れる 4.7%	安心している 3.6%	安心している 3.4%	憧れる 2.9%	イライラする 2.8%	憧れる 3.6%
9位	イライラする 3.4%	憧れる 2.8%	イライラする 4.3%	イライラする 3.5%	イライラする 3.1%	イライラする 2%	憧れる 1.9%	イライラする 3.4%

(選択式/単一回答)

さらに、各感情への回答割合を都道府県別に高い順でみると、以下の通りの結果になりました。
佐賀県は約2人に1人が「老後が不安・心配」と回答したのに対して、東京都、埼玉県、兵庫県はポジティブな感情を持っていることが分かりました。

「金融スキマ世代」が「老後の暮らし」に最も強く感じているのは？（都道府県別、n=6,778）

	1位	2位	3位
不安・心配	佐賀県（47.9%）	長野県（46.5%）	島根県（45.7%）
想像がつかない・ 考えたことがない	山口県（29.7%）	香川県（29.3%）	大分県（28.6%）
なんとかなると思う	岡山県（19.0%）	高知県（16.0%）	大阪府（15.9%）
楽しみだ・ ワクワクする	埼玉県（11.6%）	愛媛県（10.6%）	東京都（10.3%）
憧れている	東京都（9.0%）	兵庫県（8.6%）	大阪府（6.9%）
つらい・ 悲しみにくれている	愛知県（8.8%）	北海道（8.3%）	広島県（8.2%）
安心している	兵庫県（7.9%）	香川県（7.5%）	福岡県（7.4%）
イライラする	大阪府（7.6%）	千葉県（6.6%）	愛知県・福岡県 （6.1%）

(選択式/単一回答)

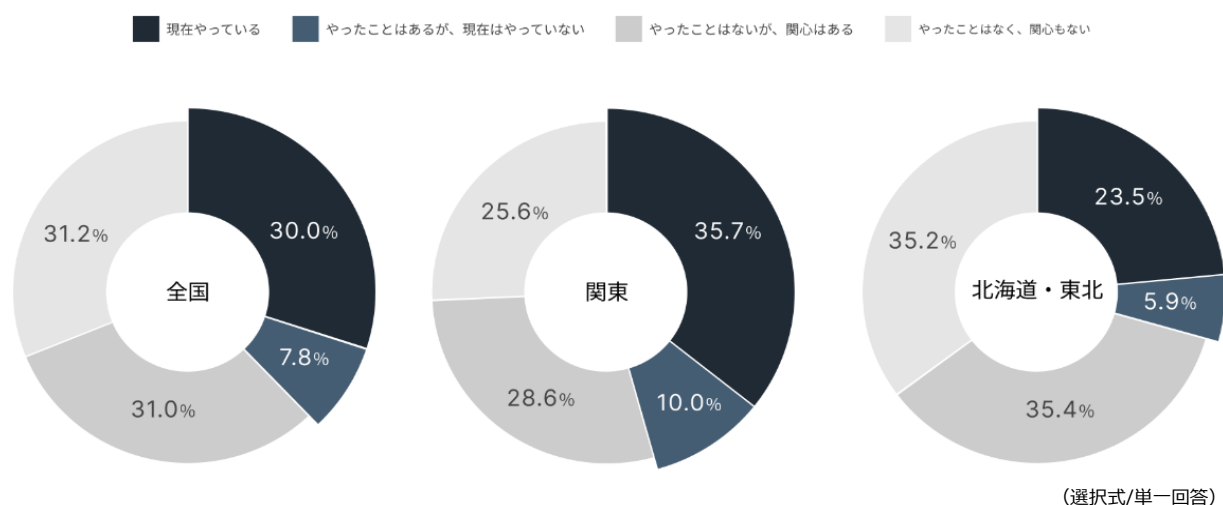
＜「金融スキマ世代」の投資経験・関心度は？＞

投資の経験・関心度を尋ねると全国平均では「投資経験あり」（現在やっている／やったことはあるが、現在はやっていない）が37.8%、「やったことはないが、関心はある」が31.0%、「やったことはなく、関心もない」が31.2%と回答が分されました。

「投資経験あり」の中で地方別に絞ると、投資経験が最も高いのは関東地方の45.7%、一方で最も低いのは北海道・東北地方の29.4%といった結果となりました。さらに都道府県別にみると、経験者は東京都が最多の61.4%、大分県が最少の23.6%となり、大きく差が開きました。

前述の「老後の暮らし」をどう感じているかという設問で、老後に対してポジティブな感情を持つ人が関東地方の各都県に多いことから、投資経験との関連が窺えます。

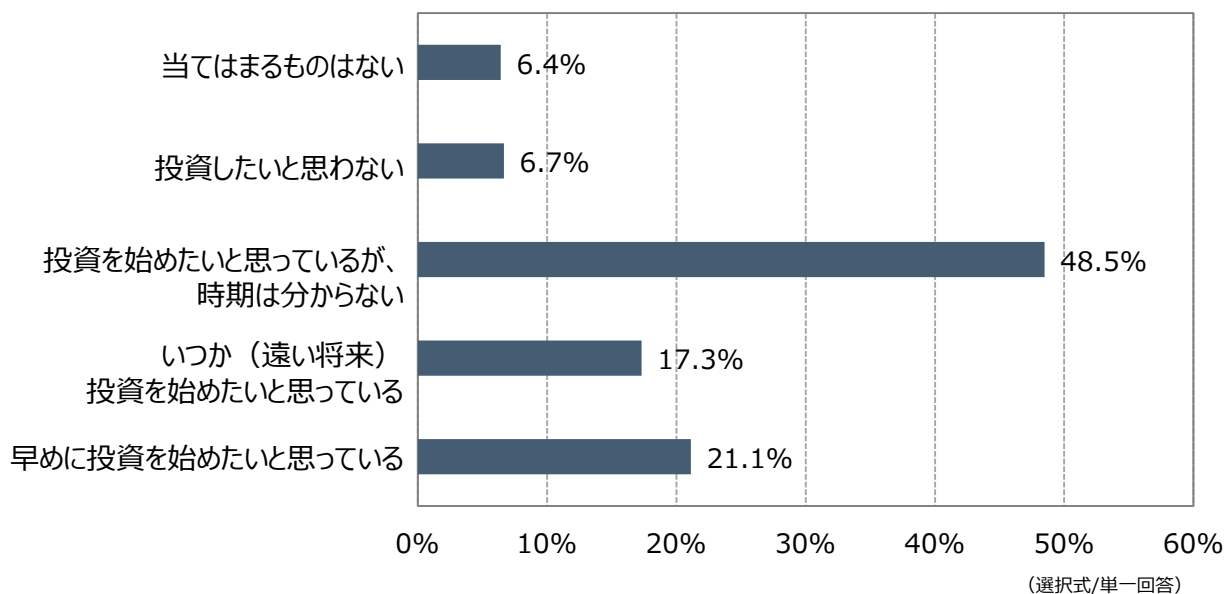
「金融スキマ世代」の投資経験・関心度は？（地方別、n=6,778）



また、投資経験・関心度について、「投資をやったことはないが、関心はある」と回答した方に対し、「いつ頃投資を始めたいと思っているか」と聞いたところ、全国平均では「早めに開始したい」が21.1%である一方、「投資を始めたいと思っているが、時期は分からない」48.5%という結果になりました。

投資意欲については全体的に高いものの、実際に「投資を現在やっている」の割合は30.0%であることも踏まえると、「投資に関心があり、将来のためにも始めたほうが良い」と思いつつも、投資を始めるあと一歩が踏み出せない状況が窺えます。

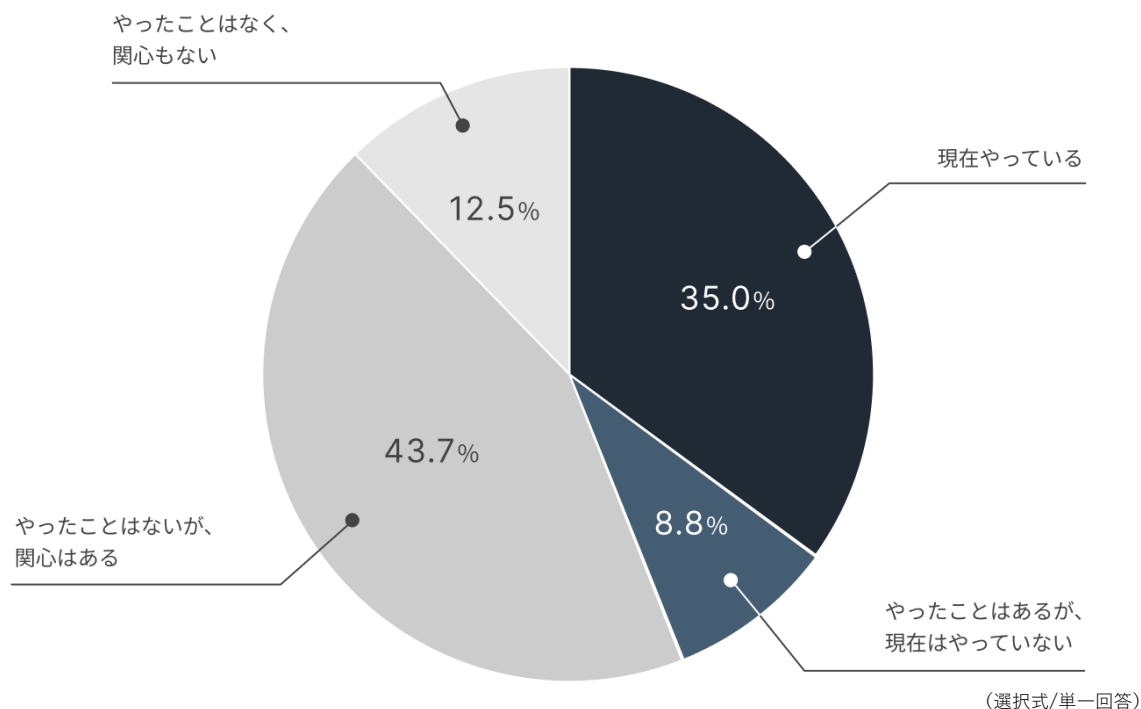
「投資をやったことはないが、関心はある」層は、いつ頃投資をしたいと思ってる？（n=2,102）



＜「金融スキマ世代」の「NISA／つみたてNISA」経験・関心度＞

「NISA／つみたてNISA」の経験・関心度について尋ねたところ、全国平均では「経験あり（現在やっている／やったことはあるが、現在はやっていない）」が43.8%、「やったことはないが、関心はある」が43.7%、「やったことはなく、関心もない」が12.5%となりました。「NISA／つみたてNISA」には経験者も含め、約8割以上が関心を持っていることが分かりました。

「金融スキマ世代」のNISA/つみたてNISAの経験・関心度は？（n=4,388）



このうち、都道府県別にみると、「経験あり（現在やっている／やったことはあるが、現在はやっていない）」が東京都が最多で61.2%、大分県が最少で30.6%と、投資経験に関する質問と同様の結果となりました。大分県は「NISA／つみたてNISA」の経験者は少ないものの、「やったことはないが、関心はある」の割合は、62.4%と全都道府県の中で最も多い割合となりました。

「金融スキマ世代」のNISA/つみたてNISAの経験者の割合は？（都道府県別、n=4,388）

	「NISA／つみたてNISA」 の経験者の割合		
1位	東京都（61.2%）	43位	鹿児島県（33.7%）
2位	福岡県（59.1%）	44位	宮城県（33.0%）
3位	神奈川県（53.6%）	45位	山口県（29.7%）
4位	愛知県（51.9%）	46位	香川県（29.3%）
5位	愛媛県（51.7%）	47位	大分県（28.6%）

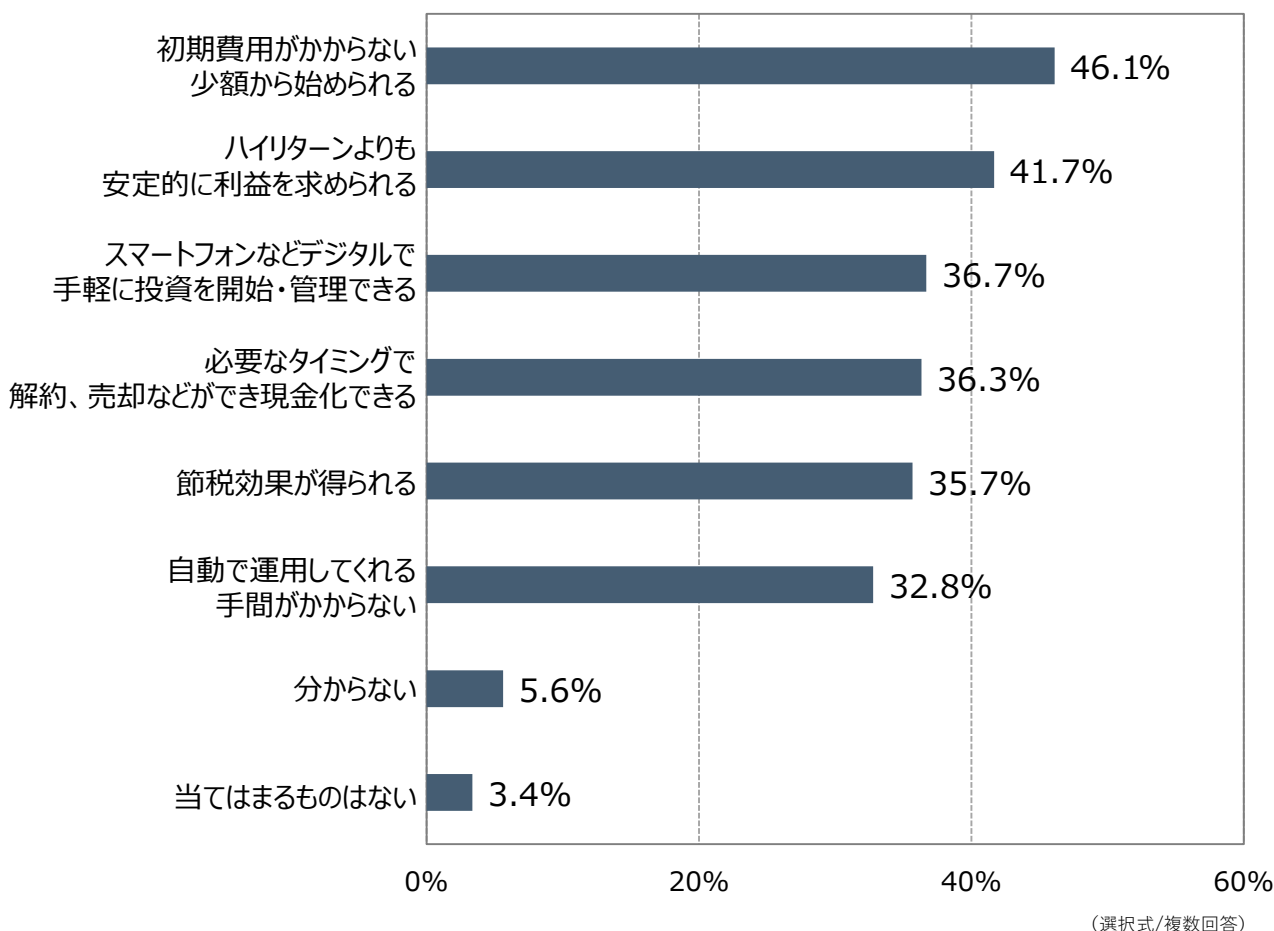
(選択式/単一回答)

＜「金融スキマ世代」が投資をする上で重要視するポイント＞

「投資経験者」と「やったことはないが、関心はある」層に、投資をする上で重要視するポイントを尋ねました。「初期費用なし／少額から始められる」が46.1%と約半数が回答し、続いて「ハイリターンよりも安定的な利益が見込める」が41.7%、「スマートフォンなどデジタルで、手軽に投資を開始・管理できる」が36.7%という結果になりました。金融スキマ世代は、投資をする上で「始めやすさ」「安定的な利益」「デジタルで管理できる手軽さ」を求めていることが分かりました。

重要視するポイントとして、「ハイリターンよりも安定的な利益が見込める」が41.7%と上位につけていることから、経済状況が不安定で不確実な時代を生きてきた「金融スキマ世代」にとって、「安定」・「バランスの取れた」投資が好まれる傾向が窺えます。

「金融スキマ世代」投資するなら重要なポイントは？（n=4,388）



＜「金融スキマ世代」が希望する金融サービスの利用方法は？＞

希望する金融サービスを利用方法について尋ねたところ、全国平均では「オンラインで完結するサービス」が29.3%、「オンラインと対面を使い分けられるハイブリッド型サービス」が16.9%、「対面で完結するサービス」9.3%となりました。

地方別にみえてみると、「オンラインで完結するサービス」を希望する回答は、関東地方が平均より高く34.7%、九州地方が25.8%と最も低くなりました。一方で九州地方では、オンラインだけでなく対面によるサポートも併せて受けられる「ハイブリッド型サービス」を希望する回答が19.0%となり、地方別で最も高い割合となりました。

金融サービスにおける「金融スキマ世代」の取り込みにおいては、従来の対面形式だけでなく、オンライン形式でのサービス提供を拡充する等の取り組みによって顧客接点を強化していく必要があることが窺えます。

＜総括＞

今回の調査から、「金融スキマ世代」では3人に1人が老後に対して「不安・心配」と感じており、将来に向けた「投資意欲」は全国的に高いものの、「投資経験」には地域差があることが分かりました。

投資にまつわる情報量や老後への備えに向けた実践は、関東地方など大都市圏の方で多くなっているようです。さらに、投資経験と老後に対するポジティブな感情に相関性があることも判明しています。

一方、投資意欲は全体的に高いものの、実際に「現在投資をやっている」は全国平均で3割程度であり、「投資に関心があり、将来のためにも始めたほうがいい」と思いつつも、「何をやっていいかわからない」という状況にあることが窺え、投資を始めるまでの溝が存在することが分かりました。

ニッセイアセットマネジメントでは、資産運用の重要性が高まる一方、個人の資産運用がなかなか浸透しない現状をDXの活用で変えていきたいという考えのもと、スマートプラスとスマホで完結する投資一任運用サービス「Goal Navi」を共同開発しました。^(※3) また、資産運用会社として、若年層を含めた個人の資産形成ニーズを引き出すため、個人の資産形成に寄与するサービスや金融教育の提供に取り組んでいます。^(※4)

2023年4月に開催された経済財政諮問会議では「資産運用立国日本を実現していく」として、2023年中の政策プラン策定を明言しています。また、2023年を「資産所得倍増元年」とし、「貯蓄から投資へ」のシフトを抜本的に進めるため、NISA制度が抜本的に改訂されます。^(※5)

これからを担う若年層にとって、2024年1月から開始する「新しいNISA」制度は、投資未経験者を含めて資産運用をスタートする契機となると考えられます。今回の調査結果を踏まえながら、今後も3社ではより良い人生のための資産形成に関する情報提供活動を続ける考えです。

※3：スマホで完結する投資一任運用サービス「Goal Navi」（<https://www.goalnavi.com/>）

※4：サステナビリティへの取り組み（<https://www.nam.co.jp/sustainability/activity/index.html>）

※5：首相官邸（https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202304/26keizai.html）
（https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/discourse/20230630contribution.html）

◆「都道府県・地方別、投資の意識と実態に関する調査」概要◆

- ・調査期間：2023年9月13日（水）～9月19日（火）
- ・調査パネル：株式会社GA technologies・株式会社スマートプラス・ニッセイアセットマネジメント株式会社調べ、株式会社ジャストシステム（Fastask）のアンケートパネルを利用
- ・対象：20～30代の男女（学生を除く）
- ・回答者数：6,778名（都道府県によって回答者数は異なります）
- ・調査方法：インターネット調査

※回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合があります。

※本プレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社が商標権を有している場合があります。

※本調査をご紹介や引用いただく際は、出所を明示していただきますようお願いいたします。

記載例：GAテクノロジーズ・スマートプラス・ニッセイアセットマネジメント調べ「都道府県・地方別、投資の意識と実態に関する調査」

※その他データに関して必要な場合は各社にお問い合わせください。

◆ニッセイアセットマネジメントの概要

日本生命が長年にわたる資産運用で培ってきた運用ノウハウを活かし、生命保険の資産運用の特徴でもある「長期的」「安定的」な資産運用を、年金基金や投資信託のお客さまにご提供している資産運用会社です。

会社名：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号

代表者：代表取締役社長 大関 洋

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

公式サイト：<https://www.nam.co.jp/>

◆GA technologiesの概要

株式会社GA technologies（ジーエーテクノロジーズ）は、「テクノロジー×イノベーションで、人々に感動を生む世界のトップ企業を創る。」を理念に掲げ、不動産をはじめ、さまざまな産業のビジネス変革に取り組むインダストリーテック企業です。2013年の創業から5年後の2018年に東証グロース市場（旧東証マザーズ市場）に上場。上場後に10件のM&Aを実施し、2022年度には売上高1,100億円を超える急成長を遂げています。2020年～2022年には、3年連続で「DX銘柄」に選出（グロース市場で唯一）されました。

会社名：株式会社GA technologies

代表者：代表取締役社長執行役員 CEO 樋口 龍

設立：2013年3月

公式サイト：<https://www.ga-tech.co.jp/>

◆スマートプラスの概要

株式会社スマートプラスは、証券ビジネスプラットフォーム「BaaS(バース):Brokerage as aService」を軸に、事業者による自社顧客向け証券サービスの提供を支援するフィンテック企業です。

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するFinatextグループにおいて、証券領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。クレジットカードで個別株が買える日本初のサービス「セゾンポケット」開発などの事業者向けサービスのほか、自社でもスマホ投資サービス「STREAM(ストリーム)」を開発・提供しています。

会社名：株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号

代表者：代表取締役 小林 紀子

設立：2017年3月

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

公式サイト：<https://smartplus-sec.com/>

■ ゴールナビのリスク

- ・ ゴールナビでは、ニッセイアセットマネジメントがお客さまと締結する投資一任契約に基づき投資信託を対象とした投資運用を行います。投資元本は保証されるものではありません。
- ・ 投資対象となる投資信託は、値動きのある国内外の有価証券等に投資しますので、株価、金利、通貨の価格等の指標に係る変動や発行体の信用状況等の変化を原因として損失が生じ投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・ ゴールナビは預金とは異なり、預金保険制度の対象ではありません。
- ・ 投資一任契約によりニッセイアセットマネジメントがお客さまに代わって運用を行います。運用による損益はすべてお客さまに帰属します。

■ ゴールナビの費用

- ・ ゴールナビにてお客さまにお支払いいただく費用は、契約金額に対してアプリコースの場合は**最大年率1.045%（税抜き0.95%）**、コンサルティングコースの場合は**最大年率1.375%（税抜き1.25%）**となります。3月末・6月末・9月末・12月末を四半期末として同四半期に属する期間分の費用を計算し、原則として翌月第10営業日に後払いでお支払いいただきます。なお、契約金額によって異なりますので、詳しくは契約締結前交付書面をご確認ください。
- ・ その他に、投資対象となる投資信託に関して運用管理費用（信託報酬）、監査費用、有価証券の売買手数料などの間接的にご負担いただく費用がかかります。運用管理費用（信託報酬）は、投資対象となる投資信託の日々の純資産総額に0.198%～0.330%（税込・年率）をかけた額をご負担いただきます。運用管理費用（信託報酬）の合計額は資産配分や運用期間等によって異なるためあらかじめ記載することはできません。
- ・ 監査費用、有価証券の売買手数料等は運用状況等により変動するため、事前に上限額等を示すことはできません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ・ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および運用期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

■ ご注意事項

- 当資料は、情報提供を目的として作成しており、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 市場見通し等は、お客様の運用方針や投資判断等の参考となる情報の提供を目的としたものです。実際の投資等に係る最終的な決定は、お客様ご自身のご判断で行っていただきますようお願い申し上げます。
- 当資料は、現時点で信頼できると考えられる情報を基に作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 当資料に関わる一切の権利は、引用部分を除き弊社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。
- ゴールナビのお申込み（投資一任契約）の前に、最新の「契約締結前交付書面」をよくお読みください。お申込み（投資一任契約）の際には、投資一任契約書兼投資一任契約締結時交付書面、諸約款・規約、その他書面集で契約内容をご確認、ご理解いただき、お客さまご自身でご判断ください。
- 投資一任契約にはクーリング・オフ（金融商品取引法第37条の6の規定）は適用されません。



この件に関するお問い合わせは
広報室／〒100-8219 東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル
Tel.03-5533-4037
<https://www.nam.co.jp/>